資本金壹百萬圓也

東京市日本橋區南茅

中外證券信

社長　法學博士　戸水寛人

電話浪花（四九一九番）三八六二番

有價證券賣買
一般金融業務
株式募集引受
會社設立整理
一般信託業務

現物部
信託部

其他ハガキに
大第御送り申

二月十七、

白仁長官歸着す

直ちに製鐵所に入り善後策を協議す

二月十七日

[illegible]業勃後の急電に接し急遽歸途につける白仁長官は廿六日午前[illegible]時卅分下關驛着門司より自動車を飛ばして途中官邸にも立寄らず[illegible]一時半製鐵所に歸着事務所樓上會議室に中川次長安達福岡地方裁[illegible]長正齋醫福岡縣警察部長新納小倉憲兵隊長等と會議を開き次[illegible]より罷工の經過を聽取したる後今後の方針につき協議中なり尚安[illegible]内務福岡縣知事も同會議に參加すべく午後一時四分着列車にて來幡せり（八幡來電）

四億以上の入超

見るやも計り難し、我最大の得意たる米國の現狀は如何、生糸の如き果して今後好く今日の好況を持續すべきや多大の疑問なり、支那の狀態亦邦貨排斥尚止まず、彼是之を考察するに、盡し我國の

經濟界は將に反動期に入らんとす

[illegible]相の所見如何、と高橋蔵相に一矢を射び、次で產業政策に就き農相に質問すべしと論鋒を一轉し、

詰問痛烈

當局の肺腑を抉る

今や世界は軍國主義の惡夢より醒め、平和の世界を建設せんとす、此平和の第一年に於て、我

委員會

[illegible]議院議員選擧法中改正法律案を[illegible]員會は、本日午前十時卅分開會、[illegible]會、國、實行會提出の三案を一[illegible]題とし

●憲政提案說明

△藤澤幾之輔氏　本案正の要旨は納稅資格の撤廢により、現行法は納稅資格者のみ選擧權を與ふるが故に、有權者は僅々百五十萬人を出でず、と前提し、普通選擧を採用せる米諸國の例を擧げ今や普通選擧は世界の大勢なり、然るに我邦は今や五大强國に入せるに拘らず、依然制限選擧を實施しつゝあるは世界の

大勢に逆行するもの

●白仁長官の回答は不得要領

加藤勘十氏白仁長官を突込む

豫算は秘密を固持して語らず

既記の如く勞友會應援の爲め來幡中なる東京毎日記者加藤氏は去る十三日製鐵所白仁長官に會見を求めたるに長官は快く之を諾し同日製鐵所に於て第一回會見を遂げ大要左の意味の談話を交換せしと云ふ

此日白仁長官は頗る溫顏を以て加藤氏に接し少しも城府を設けざるしとの事なるが加藤氏は

▲開口一番述べて曰く

予は今日長官に進言せんとするは勞友會の代表資格にあらざるは勿論新聞記者の立場からにもあらず單に一個人として公正の見地に立ち誠意を披瀝して以て長官が今回の善後所置に付圓なる解決を與へられんことを請するの主意に外ならず願はば微意の在る所を諒とせられ長に於ても隔意なき御答あらんことを而して予が先決として長に望むはよろしく職工の人格を認められんこと若し長官が職の

▲人格を重視せず

略を以て只表面のみの平和を明せんとするが如きことあらば是れ精神上の破壞にして生産能率は益す低下し將來永久に瓦製鐵所の損失を免れざるべし つ又今更返ぬことなれども